

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務 雪氷対策作業		協力会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
工期	令和6年11月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	
作業名称	雪氷対策作業(梯団除雪作業)	作業手順書	作成年月日	令和3年11月1日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	除雪専用車×3台、湿塩散布兼除雪車×2台、標識車(後尾警戒用)×1台		協力会社店社確認	前書サイン
使用工具 機器 (大きさを等とは 具体的な方法を 記す)			元請確認	前書サイン
保護具	ヘルメット、フォック、手袋、警笛、安全帯		改正年月日	令和7年1月14日
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す)	大型免許、普通免許、玉掛け、ホイストクレーン		作業順序	
作業人員 (当作業に關わる役 別と人員を全て記 す)	大型運転手5人、運転助手5人、標識車運転手1人、標識車助手1人			
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日 令和 年 月 日	1 雪氷本部からの作業指示	
	合計 12名		2 作業前車両点検	
			3 薬剤積み込み	
			4 作業前ミーティング	
			5 梯団除雪作業	
			6 後片付け	
			7 作業終了連絡	
			8	
			9	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能 性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
本部からの作業指示									
(基地連絡員)	作業箇所確認	どこのICまでの作業指示か？行先確認							
	作業内容確認	除雪のみ・兼用・積み込み量・台数の確認							
	作業場所の状況確認	路面状況・渋滞、事故等の交通状況の確認							
作業前車両点検									
(全員)	車両点検	機械、灯火装置等の動作確認							字幕は 作業中 追越禁止 とする
薬剤積み込み									
(担当者)	在庫に車両を移動	車両移動時に構造物への接触	車両を移動する際に構造物、他の車両に接触する	△	○	△	2	安	移動前に車両周りの確認を行い、バックする際は誘導員の誘導に従いバックする。
	薬剤の積み込み	薬剤を玉掛けクレーンにて移動	吊り荷が落下し作業員に接触する	○	×	○	3	安	吊り荷の下には立入禁止
		吊り荷の薬剤を開口部から投入口に移動	開口部に近い作業員が落下する	○	×	○	3	安	開口部に近い作業員は安全帯を着用する
		剤を均等に均す	急ブレーキをかけた際に、車両に過度な負担がかかり損傷する	○	○	○	1	安	車両を前後に動かす急ブレーキをかけた際の禁止
作業前ミーティング									
(全員)	作業内容の周知確認	除雪のみ、兼用、グレーダー作業							
		梯団解除の有無の確認	梯団開始、解除時に一般車と接触	△	○	△	2	公	全員で手順の確認を行う
梯団除雪作業									
(全員)	梯団体形を組み除雪作業	梯団開始・解除の手順	梯団開始、解除時に一般車と接触	△	○	△	2	安	手順通りに開始、作業を行う。また、後尾警戒車の位置は一般車が梯団に割り込まない位置とする。
		梯団解除が必要な際							後続の一般車が確認できる車両より無縁にて各梯団車両に連絡
		梯団解除							あらかじめ決められた場所にて、1・2番車と順に追い越し車線を開放する。
		一般車解放完了							解放後、後続の一般車が確認できる車両より無縁にて各梯団車両に連絡。
		梯団体形開始	梯団開始、解除時に一般車と接触	△	○	△	2	安	後続の一般車が確認できる車両より無縁にて各梯団車両に連絡し右ウインカーを点灯させ隊形を組む。
		投雪禁止箇所の除雪	除雪した雪がネットを超え落下し、第三者被害を及ぼす	×	△	×	4	安	投雪禁止区間においては速度を落とし落下防止ネットを超えないよう注意する。
Uターン門扉を使用して反転	車両通行時の接触	除雪車が門扉を通過する前にリモコン操作を行い閉鎖途中で車両と接触する							閉鎖作業(リモコン操作)を行う人員を定める
									5台梯団+後尾警戒車の場合 (本線)1番車 リモコン操作(閉鎖)後、通過 (本線)2番車 3番車 後尾警戒車 通過 (ランプ)4番車 通過 (ランプ)5番車 通過後 リモコン操作(閉鎖) ※ランプ車が通過するまで門扉はあけた状態
									庄川Uターン路転回時に限る(白鳥、庄川基地) 3台梯団+標識車(雪氷巡回車)の場合 (本線)1番車 リモコン操作(閉鎖)後、通過 (本線)2番車 3番車 通過 (本線)標識車 通過後 リモコン操作(閉鎖) ※標識車(雪氷巡回車)は、閉鎖完了後 基地へ帰着するものとする
後片付け									
(全員)	車両の確認	故障、異常箇所の確認							
	車両の格納	次作業に備え庫内に格納	車両を移動する際に構造物、他の車両に接触する	△	○	△	2	安	移動前に車両周りの確認を行い、バックする際は誘導員の誘導に従いバックする。
作業終了連絡									
(基地連絡員)	作業終了連絡	異常、故障の有無、剤の残数の報告							工事車両を撤去した場合は専用のケースに 確実に格納し庫内に保管する事